

学童ってどんなところ？

学童保育に通う子どもたちは、学童を『生活を営む場』として学校から「ただいま！」と帰ってきます。家庭で過ごすのと同じように、休息したり・おやつを食べたり・宿題をしたり…。みんなでする場所だから掃除もします。3部屋での保育となっており、部屋割りについては年度毎に変更となります。保育室の大きさについては違いがありますが、遊具等については全て同じ物を用意させていただいております。

＜基本的な生活の流れ＞

☆平日

14:30	16:00	16:40	18:00	18:30	19:00
下校 室内保育 遊び場（2年以上）	おやつ	班掃除（水・金） 自由時間 外保育 室内保育	室内保育	延長保育	閉所

○毎週月曜日は”宿題の日”帰ってきたら全員宿題をします。1年生は宿題の習慣をつけるために、毎日宿題をしてもらいます。（最後のチェックは必ずご家庭でお願いいたします。）

○掃除は毎週、水・金曜日です。自分達で使った場所を綺麗にするという意識を育てると共に他の学年と関わる・協力するという大切な時間でもあります。

☆長期休み（通常時）※イベント時はこの流れに限りません。

7:40	8:00	8:00～9:30	9:30～12:00	12:00	13:15	13:45～16:00	16:00	16:30	18:00	18:30	19:00
早朝保育開所	通常保育開所	勉強時間 （二時間は勉強）	自由時間 各長期休み取り組み	お昼ごはん	班別掃除	自由時間 各長期休み取り組み	おやつ	自由時間	1部屋で保育	延長保育	閉所

○早朝保育について

事前申し込み制となります。申し込みが無い場合の8時以前の来所は出来ません。

学童施設内の電波時計を基準とさせていただきます。

○持ち物・お昼等について

各長期休み前に行われる保護者会にて詳細をお伝えします。

☆異年齢集団の大切さ

地域の中で子ども達が外で遊ぶ姿を見ることも少なくなりました。子ども達は友達との関わりの中で成長する部分もあります。高学年は、お兄ちゃん・お姉ちゃんの役割を持ち、低学年はお兄ちゃん・お姉ちゃんに色々なことを教わりながら、自分達が高学年になった時の役割も同時に学びながら成長していったらと願っています。

☆子ども達は遊びが仕事

学童保育にはテレビゲームの類はありません。所内・所外でそれぞれが思うままに遊びます。時には集団遊びの大切さを色々な遊びの中で楽しみながら、学んでいくこともあります。遊びといっても楽しいことばかりではありません。時には我慢をしたり、喧嘩をして辛い思いをしたりすることがあるかもしれませんが、1つ1つの壁を乗り越えていく力も集団生活の中で学んでいって欲しいと思います。

☆おやつも掃除もみんな一緒に

おやつは成長期で活動量の多い子ども達の楽しみでもあり、夕食までの大切な栄養源です。おやつを食べ終えたら掃除の時間。班ごとに掃除場所を分担して行います。集団生活の中で決まった生活習慣を行うことで、社会性などのルールも学んでいくことができます。

☆子どもと支援員との関わり方

子どもたちにとって支援員は学校の先生ではありません。時には一緒に遊び、悪いことをすれば注意・指導をすることもあります。毎日の学童の生活の中でたくさんの関わりが支援員と子どもとの間にあります。支援員としては出来る限り近い距離で子どもたちと接していきたいという思いがあります。その一つにお互いの呼び方があります。子どもは支援員をあだ名（〇〇ちゃん等）で呼び、支援員は子どもを呼び捨てで呼んでいます。大切なお子さんの名前をいきなり呼び捨てにすることは大変失礼かとは思いますが、ぜひご理解をして頂けたらと思います。

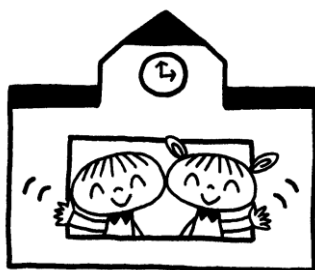
入所後の注意事項

- ★ 学童をお休みする際は、必ず保護者の方が連絡してください。留守電に入れるのでもかまいません。学校をお休みする場合も同様に必ず学童へ連絡をお願いいたします。
- ★ 長期休みの昼食は弁当持参、もしくは業者発注による弁当となります。（注文業者・価格等については各長期休み前の保護者会でお知らせします。）
コンビニ弁当持参は可となります。温めは出来ませんのでご了承ください。また基本的に残飯・ごみは持ち帰りとなります。量についてはお子さんとよく話し合ってください。夏場の時期は保冷剤の用意を必ずお願いいたします。
- ★ 学童からのおたよりや集金袋は、各棟玄関設置の“おたよりケース”に配布されます。
これは子どもが持ち帰るものではありません。保護者の方が、お迎えの際に必ずチェックをお願いいたします。玄関ホワイトボードにおたより等の掲示をします。
- ★ 集金や学童への提出物は子どもに持たせず、保護者の方から直接支援員にお渡しください。
- ★ お迎えの際は学童から配布する名札を必ず着用してください。複数の方がお迎えに来るご家庭はその方も名札を着用してください。複数枚必要な場合 追加申込書の記入、提出をお願いいたします。（追加無償）
- ★ 送迎の際は必ず学校駐車場をご利用ください。構内最徐行でお願いいたします。
学童の南側校門での引き渡しは緊急時以外出来ませんのでご注意ください。
- ★ おやつ提供の際のアレルギー対応については、基本的に「該当おやつの除去」とさせていただいております。代替おやつの用意はありません。（該当する場合は個別での対応とさせていただきます。）

- ★ 学童用の着替えについては児童ロッカー保管となります。任意の持ち物となりますが、出来る限りの用意をお願いいたします。下着が汚れた場合にお預かりしていない子に関しては学童所有の下着を使用させていただきます。その際は、新品同サイズの下着を学童まで返却をお願いいたします。
- ★ 習い事に関して学童は関与することが出来ません。各習い事の出発時間に対して声掛け等はさせていただきますが、学童外で起こったことについては責任を負いかねますのでご了承ください。(学校敷地外での事故等)

保護者会とは？

保護者会は、学童保育に子どもを預けて働く親たちがお互いの交流を通じて子どもたちをより良く育てようということから作られた自主的な会です。『子どもをより良く育てよう』ということはすべての親の願いです。しかし、今日の子どもを取り巻く状況はその願いに様々な形で壁を作る場合が少なくありません。これらの問題を家庭の中だけで悩んでいたのでは大変視野の狭いものになってしまう。



多くの同じような困難を抱える親同士が本音で語り合えるのが保護者会です。また、保護者会での様々な活動を通して親同士のつながりは、地域の結びつきが弱まっている現在においてはとりわけ意味があると言えます。働きながらの子育ての苦楽を分かち合い、子どもたちのために活動し、励ましあい、支えあっていく、そんな保護者会にしていきたいものです。

＜例年の保護者会役割分担＞

①理事会
各学年2名選出、予算決定・執行状況の確認・職員雇用について等、運営に係る業務
②大掃除実行委員
年2回の大掃除担当
③新入生歓迎懇親会実行委員
年度初めの懇親会の企画・準備・進行
④学童行事委員
キャンプ・お泊まり保育行事の手伝い
⑤子どもまつり実行委員
行事「子どもまつり」の準備・当日手伝い

下川淵学童保育所では全家庭に左記のいずれかの実行委員を担当していただきます。

3月に行われる保護者会にて各委員を決める予定です。(毎年、多少の変更があります。)

※ 新型コロナウイルス感染症流行後、全ての行事が中止となったため学年別で全家庭に大掃除を手伝っていただきました。

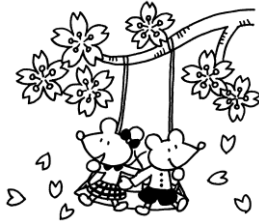
※ 保護者会の理事会については全家庭を対象に立候補又は抽選での決定としました。

1年間の流れ(行事など)

4月

入学・入所と子どもたちにとっては緊張の連続です。

まずは学童に慣れてもらうことが最優先です！4月は学童で新しい友達をたくさん作ろう！



5月

1年生の子たちの間でちょっとしたケンカやトラブルが見えるようになってくる時期です。それは学童にも慣れてきたという証拠。なにか困ったことがあったら支援員までお気軽にご相談を！

高学年は「あかぎの森のようちえん」のプログラムに参加し、野外活動を行います。オリエンテーリングやネイチャーゲームをしたり、焚き火でマシュマロを焼いて食べたり、たくさんの楽しい体験をしましょう。

6月

梅雨に入り雨の日が多くなります。外遊びが出来なくなって学童の中でトランプやパズル、カプラという積み木をしたりお兄ちゃん・お姉ちゃん達に遊び方やルールを教えてもらいます。また毎年違った梅雨限定の工作があります。興味のある子は作ってみよう！



7月・8月

夏休み中、学童は1日保育となります。

各学年ごとに工作をします。万華鏡や迷路や時計を作ったりします。校庭で水遊びをしたり、体育館で体を動かして遊んだりします。

ゲストイベントではゲストの方をお呼びしてマジックショーや体験型のデジタルショーなどを企画しています。今年はどんな楽しい事が待っているかな？



9月

1年生は学童にすっかり慣れてくる頃です。

この時期になるとみんな運動会に向けて一生懸命練習しています。学童でもみんなの頑張りが見えていましたよ。

10月

県民の日は体育館でミニ運動会やレクリエーションなどを開催。
ハロウィンの日には、みんなで仮装をして大盛り上がり！そして、
合言葉を支援員に言うと、何かいいことがあるかもしれません。
お楽しみに！



11月

こどもまつりを開催します。支援員が店員となり、お客さんは
学童のこども達です。色々なお店を周り、景品をゲットしよう！



12月

2・3年生は体験遠足があります。毎年違った場所で何かを
作ったり触ったりして楽しんでいます。
冬休みの学童開所日数は少ないですが、寒さに負けず元気に
遊びましょう！
クリスマス会ではみんなでケーキを食べたり、ビンゴゲーム
をしたり、とても楽しい時間が過ごせます♪

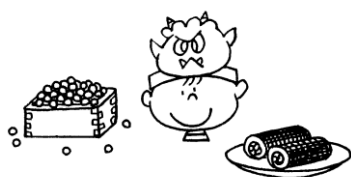
1月

インフルエンザの流行に負けないように、うがい・手洗いをしっかりしましょう。
学童の大掃除があります。



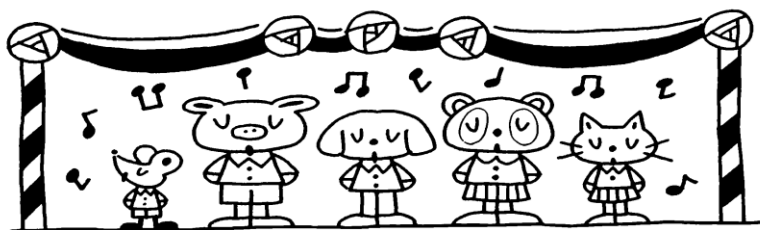
2月

1年でいちばん寒い時期ですが、学童では体力作りを兼ねた
なわとび検定に取り組んでいます。
また節分には今年の恵方に向けて恵方巻を食べます。



3月

1年生は学童で初めての遠足に行きます。怪我をしないで楽しく遊びましょう。
寒い校庭でがんばったなわとび検定のまとめとして、『なわとび大会』を行います。
3月の最後の日にみんなで“6年生お別れ会”を開いて、お世話になった気持ちを伝えましょう。



学童保育ってな～に？本当のところ、あまりよくわからない・・・

喜んでばかりいられない卒園・入学

子どもたちの成長は早いもので、保育園の送り迎えに明け暮れているうちにいつの間にか卒園、入学の日がやってきます。うれしいはずの卒園・入学も働く親にとっては新たな心配事の始まりであり、喜んでばかりはいられません。入学式を終えたばかりの新１年生は給食を食べてすぐ下校になります。また、長い夏休みもあります。『夕方まで１人でいられるかしら？』『火の始末は大丈夫かしら？』など心配な事が多く、仕事が続けられるか悩み、親の不安は募ります。

学童保育は放課後の我が家

学童保育は、保育園の卒園児の保護者がこうした心配をせずに安心して働き続けるために、力をあわせて運動したことからはじまりました。お父さん、お母さんが働いていて家に帰っても保護する人がいない留守家庭の子どもたちが、いつでも安心して『ただいま！』と言って帰ってくるところ、これが学童保育なのです。

学童保育に通わせるのは親の勝手？

『お父さん・お母さんが共に働いているのは親の勝手、子どもを犠牲にしているのではないか？』という心配の声も聞きます。しかし、働くことはその人の生き方につながる大事な事柄です。保護者が安心して働き続け、子どもをしっかりと育てたいという、ごく自然な願いによって作られたのが学童保育です。

学童保育では、子どもが自由に過ごしながらも、支援員という大人が常にいて、安全に配慮しながら成長・発達を援助します。支援員は子どもの状態や活動の様子、子ども同士の関わりを家庭に伝えます。『どこでどんな友達と何をしているのかわからない』といった心配の中では親は安心して働くことは出来ません。子どもたちは、忙しく過ごす親の姿を見ながら学校へ、そして学童へと通います。そしてその中で子どもたちは、持ち物の管理・後片付け・掃除など少しずつ自分のことは自分でできるようになり、生活力を身につけていくのです。

学童保育に子どもを預けておくだけでいいの？

学童保育所は家庭に代わる子育ての場ですから、保護者が学童保育に関心を注ぎ、どんな活動がなされていて、子どもがどんな状態なのかを知ることは当然のことです。わが子に今、どんなことが必要なのか・どんな力をつけさせたいのか・どんな経験をさせたいのかを保護者と支援員で話し合ったり学び合ったりして、共同の子育てをしていくことが大切なのです。学童保育に入所したら、卒業までしっかりと通い続け、運営に参加して、保護者の方と支援員が協力しあい、より良い学童保育を作っていきましょう。

学校の友達と遊べなくなるのでは？

学童保育の子どもたちは、学校が終わるとまっすぐに学童に帰ってくるので、学童ではない友達と『今日遊ぼう！』と簡単に約束することができないことは確かです。親が家にいる日曜日などに遊ぶようにするなどの手立てを考えなければなりません。ところが最近、地域では低学年の異年齢の子どもたちが集団で遊ぶ姿を見ることは少なくなりました。ケンカもするがすぐにまた仲良くなって元気に遊ぶ、こうした学童保育の集団はとても大切な存在なのです。

みんなが遊んでいるとき『入れて！』と言える、自分から『遊ぼう！』と言えるなどの【(基本的な)遊ぶ力】【友達を作る力】を学童保育で身につけていければ、学校の友達と遊べない子になるようなことはありません。むしろ、学童保育にきちんと通い続けた子どもは、こうした力をしっかりと身につけて、たくましく成長していきます。



保育料を払うくらいなら塾や習い事に行かせた方がいいのでは？

塾では専門的に勉強を見てくれますし、習い事に通えば1つのことを掘り下げて教えてくれます。一方、学童保育は、子どもたちが生活していく中で育っていく場です。基本的な生活習慣を身につけたり、異年齢の子どもたちと遊ぶ力をつけたり、社会性のルールを学んだりしながら生き生きと生活する場が学童保育ですので、塾や習い事とは果たす役割が異なります。子どもにとって何が大切か・どういう力をつけさせたいのかによって、色々な選択肢があるかと思います。

「行きたくない！」と言ったらやめさせる？

『学童には行きたくない』『学童はおもしろくない』と学童保育に通う子どもたちが一度は口にすることがあるでしょう。『行きたくない』と言うには必ず理由があります。『自由に外で遊べないから』『学校の友達と遊べないから』など、理由は様々です。行きたくない理由をじっくり聞いてあげましょう。簡単にやめさせることに結びつけるのではなく、『なぜ行きたくないのか？』本当のところをはっきりさせて、親・子・支援員で解決していくことが大切です。『行きたくない』を上手に解決すれば、“素直な学童っ子”に育っていくはずです。

また、なぜ学童保育に通うのかを話し合ってください。お父さん・お母さんが働くことに誇りを持ち、子どものことを大切に思う気持ちが伝われば、頑張る力が湧いてくる場合が少なくないのです。毎日通うことができるようになると、学童保育の中に自分の存在が位置付いてくるので『まだ家に帰りたい！』という子さえ出てきます。そんなときは親も支援員も困った顔をしながら『やった～！』という気持ちになります。

